

2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

2024年11月8日

東京計器株式会社 (証券コード 7721)



TOKYO
KEIKI

発表のポイント

1

2025年3月期 第2四半期

前年同期比で売上高は増収、営業損失は大幅に縮小。

売上高	20,582 百万円	前年同期比	+1,382 百万円	
営業利益	▲105 百万円	前年同期比	+294 百万円	

2

2025年3月期 通期見通し

期初に公表した業績予想から上方修正し、営業利益は過去最高の見通し。

売上高	58,300 百万円	期初予想比	1,000 百万円増	
営業利益	4,100 百万円	期初予想比	540 百万円増	
営業利益率	7.0%	期初予想比	0.8% ポイント増	

3

受注残高

1Qに続き、受注残高は防衛・通信機器事業を中心に過去最高を更新。

2025年3月期 1Q	50,055 百万円	2025年3月期 2Q	54,750 百万円	
-------------	-------------------	-------------	-------------------	---

資料の内容

1. 2025年3月期 第2四半期 決算概要

2. 2025年3月期 通期見通し

3. トピックス

<ご参考資料>

- 業績推移
- 事業紹介

売上高・損益

単位：百万円	2024年 3月期 2Q	2025年 3月期 2Q	増減額	増減率
売上高	19,200	20,582	+1,382	+7.2%
営業利益	▲399	▲105	+294	-
経常利益	▲259	28	+287	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	▲237	63	+300	-
為替レート (円/USD)	140.00	153.98		

■ 売上高は、船舶港湾機器事業ならびに防衛・通信機器事業の増収が貢献し、全体として増収。

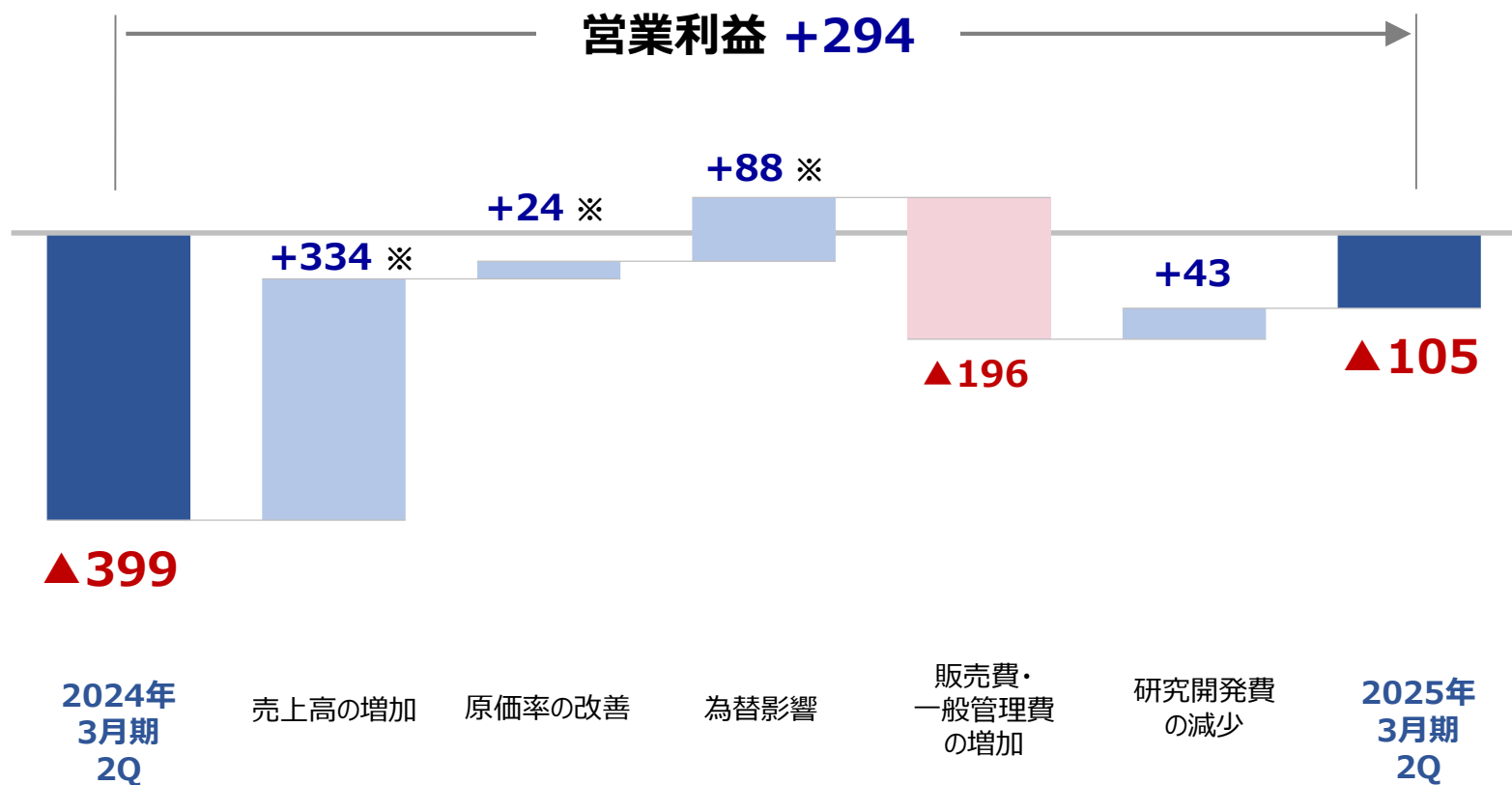
■ 好調を継続する船舶港湾機器事業が貢献し、営業損失は大幅に縮小。

四半期毎推移	2024年3月期		2025年3月期	
	1Q	2Q	1Q	2Q
売上高	9,417	9,783	8,693	11,889
営業利益	▲483	84	▲479	374

営業利益増減

単位：百万円

※推計値



- 売上高の増加
販管費における人件費、旅費交通費の増加分を船舶港湾機器事業と防衛・通信機器事業の売上高増加分でカバー。
- 為替影響
前年同期140.00円/USD に対し、153.98円/USDで円安に推移。

セグメント別売上高・損益

単位：百万円		2024年3月期2Q	2025年3月期2Q	増減額	増減率
船舶港湾機器	売上高	5,407	5,940	+533	+9.9%
	営業利益	571	776	+205	+36.0%
油空圧機器	売上高	5,567	5,352	▲214	▲3.9%
	営業利益	▲36	27	+63	—
流体機器	売上高	1,512	1,663	+152	+10.0%
	営業利益	▲124	▲130	▲7	—
防衛・通信機器	売上高	5,364	6,239	+875	+16.3%
	営業利益	▲727	▲738	▲11	—
その他	売上高	1,350	1,386	+36	+2.7%
	営業利益	▲37	▲16	+21	—
合計	売上高	19,200	20,582	+1,382	+7.2%
	営業利益	▲399	▲105	+294	—

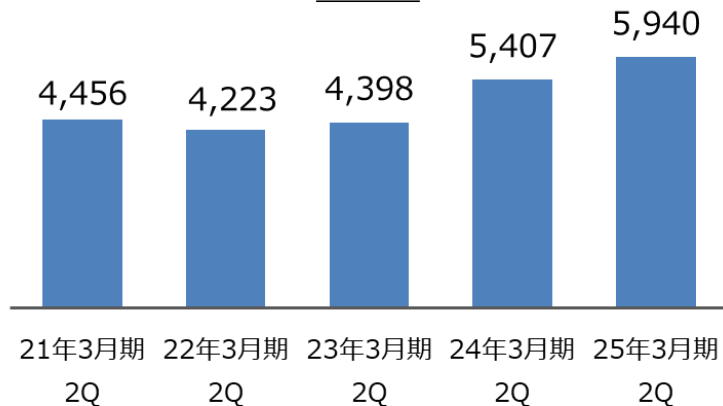
(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

セグメント別売上高・損益

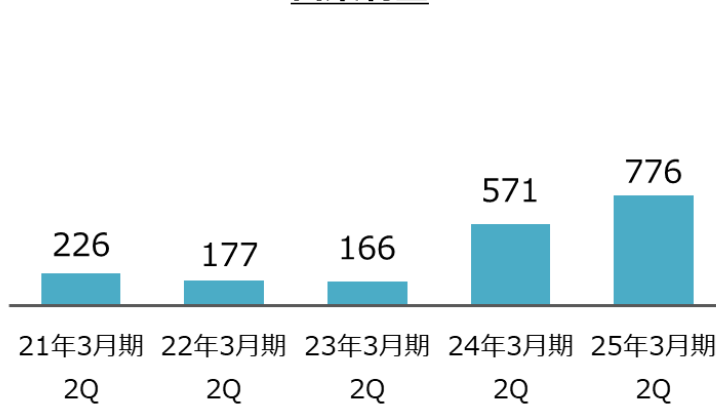
船舶港湾機器事業

単位：百万円

売上高



営業利益

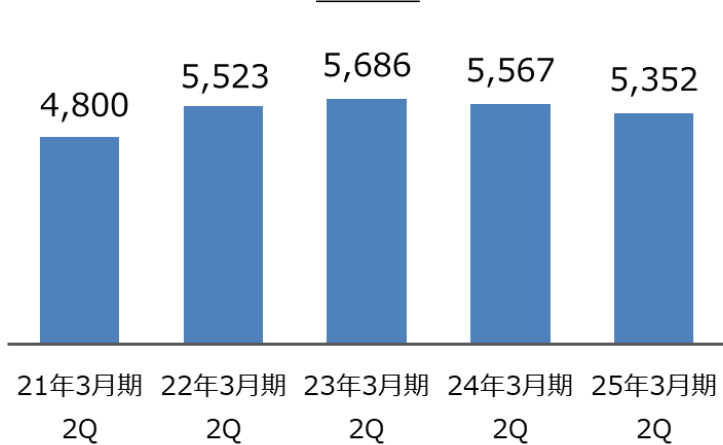


- 商船市場及び保守サービスが好調に推移したことに加え、海外市場が堅調に推移したこと、及び為替が円安基調であったことから前年同期比で増収。
- 売上高の増加や円安効果により、前年同期比で大幅な増益。

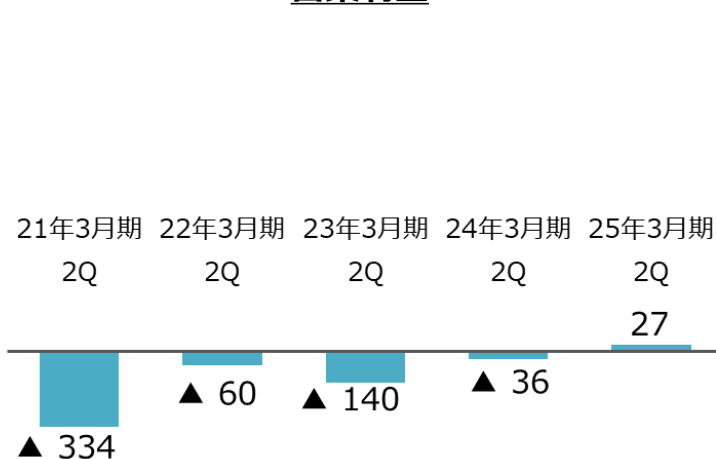
油空圧機器事業

単位：百万円

売上高



営業利益



- 海外市場が順調に推移したものの、プラスチック加工機械市場、工作機械市場、建設機械市場が低調に推移し、前年同期比で減収。
- 販売価格の適正化による利益確保の取り組みに加え、油圧応用装置等の納入増加等による製品構成の変化により原価率が改善したこと等から、黒字転換。

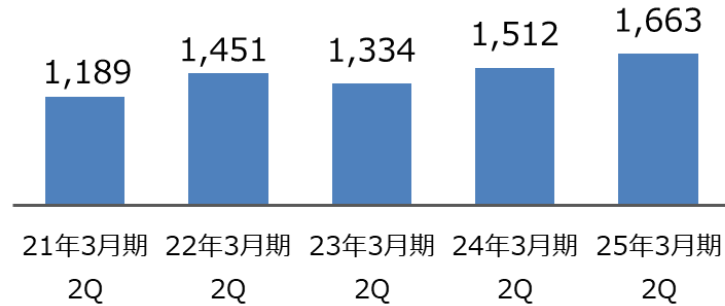
(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

セグメント別売上高・損益

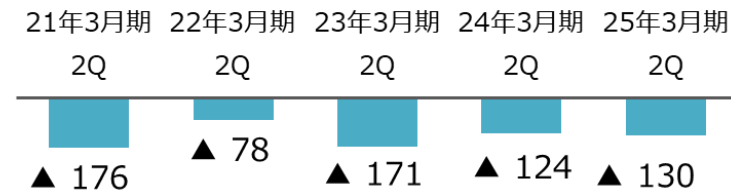
流体機器事業

単位：百万円

売上高



営業利益

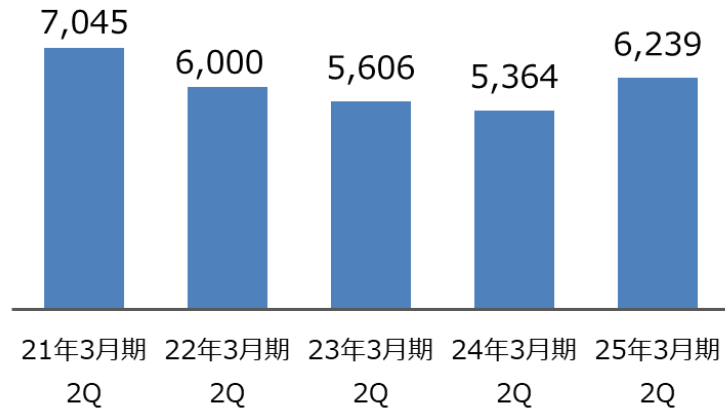


- 消火設備市場の立体駐車場案件が好調に推移したこと、及び官需市場が堅調に推移したことから、前年同期比で増収。
- 売上高は増加したものの、製品構成の変化により原価率が上昇したため、営業損失は前年同期並み。
- 計測機器事業の特性上、販売が第4四半期に集中するため、第2四半期は営業損失となる傾向。

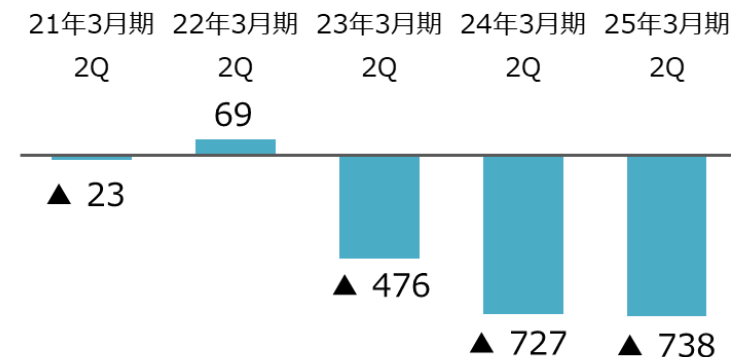
防衛・通信機器事業

単位：百万円

売上高



営業利益



- 通信機器事業は低調に推移したものの、防衛事業において防衛予算の増加を背景に航空機用レーダー警戒装置や航空機用部品等が順調に推移したことから、前年同期比で増収。
- 製品構成の変化による原価率上昇、及び通信機器事業の減収の影響により、営業損失は前年同期並み。
- 防衛事業の特性上、販売が第4四半期に集中するため、第2四半期は営業損失となる傾向。

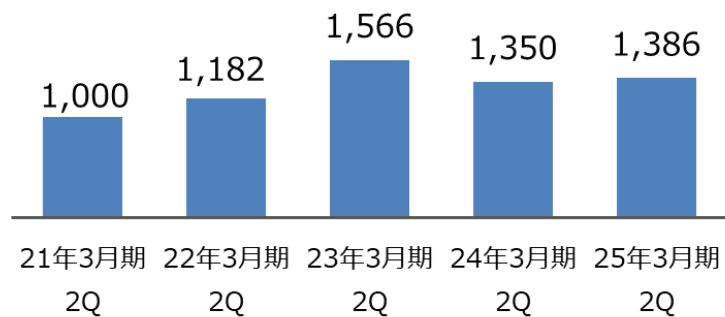
(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

セグメント別売上高・損益

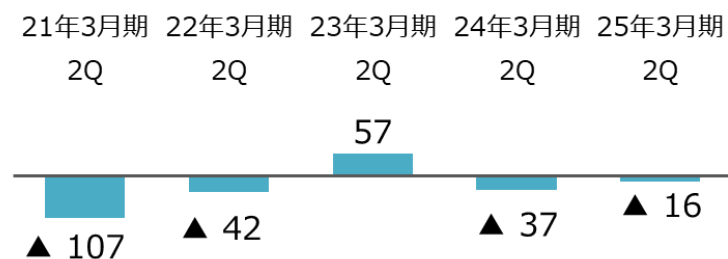
その他

単位：百万円

売上高



営業利益



- 鉄道機器事業は低調に推移したものの、検査機器事業は堅調に推移したことから、前年同期比で増収。
- 検査機器事業での販売価格の適正化等により、営業損失は縮小。

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

受注の状況

単位:百万円	受注高				受注残高				概況
	2024年 3月期2Q	2025年 3月期2Q	増減額	増減率	2024年 3月期2Q	2025年 3月期2Q	増減額	増減率	
船舶港湾機器	5,292	6,670	+1,378	+26.0%	4,050	5,146	+1,096	+27.1%	海外市場の新造船向けや保守サービスの需要が好調に推移し、受注高・受注残高ともに増加。
油空圧機器	5,823	5,958	+135	+2.3%	3,695	4,004	+309	+8.4%	工作機械市場が低調に推移したものの、海外市場は好調であったため、受注高は前期並み。受注残高は客先の先行手配の影響で増加。
流体機器	2,515	2,803	+288	+11.4%	2,596	2,660	+64	+2.5%	消火設備市場が好調に推移したため受注高は増加。受注残高は上期に大型案件の前倒しなどにより前期並み。
防衛・通信機器	11,693	13,421	+1,728	+14.8%	28,598	40,833	+12,234	+42.8%	防衛予算の増加を背景に、第2四半期の受注高、受注残高ともに過去最高値を更新。
その他	2,265	1,738	▲527	▲23.3%	2,410	2,106	▲303	▲12.6%	検査機器市場の需要が低調に推移したこと、鉄道機器事業は大型案件が昨年比に比べ少ない他、探傷車受注を第4四半期に予定していることにより、受注高、受注残高ともに減少。
合 計	27,589	30,590	+3,001	+10.9%	41,349	54,750	+13,401	+32.4%	受注残高は過去最高を更新。

貸借対照表

単位：百万円	2024年3月期	2025年3月期2Q	増減
資産の部			
流動資産	50,863	53,077	+2,214
固定資産	16,115	16,658	+543
資産合計	66,978	69,734	+2,756
負債の部			
流動負債	21,781	22,226	+445
固定負債	7,828	10,821	+2,993
負債合計	29,609	33,047	+3,438
純資産の部			
株主資本	32,901	32,439	▲462
その他の包括利益累計額	3,948	3,763	▲184
純資産合計	37,369	36,687	▲682
負債純資産合計	66,978	69,734	+2,756

■ 流動資産

前年度売上分の回収が進み、売上債権は4,676百万円減少。
防衛事業の受注増に伴う仕入の増加により棚卸資産が5,630百万円、仕入先への前渡金の支払の増加等により、その他が424百万円増加。

■ 固定資産

成長投資、老朽化設備の更新等により有形固定資産が593百万円増加。

■ 負債の部

大幅な受注増に伴う資金需要に対応するため4,500百万円の借入を実施し、借入金
が3,930百万円増加。

■ 自己資本比率は51.9%。

引き続き財務健全性を維持。

資料の内容

1. 2025年3月期 第2四半期 決算概要
- 2. 2025年3月期 通期見通し**
3. トピックス

<ご参考資料>

- 業績推移
- 事業紹介

外部環境リスクの状況

	発生事象	対象事業	対応	影響度
材料価格上昇	<ul style="list-style-type: none"> 国内人件費増加による材料費への影響。 電子部品等の値上がりによる材料費への影響。 世界的インフレによる仕入れ価格への影響。 	✓ 全事業	<ul style="list-style-type: none"> 顧客と販売価格の適正化交渉を継続。 調達コストの低減。 	高
	<ul style="list-style-type: none"> 客先予算の圧迫による契約案件の先延ばし。 	✓ 流体	<ul style="list-style-type: none"> 契約案件のモニタリングを強化し、他案件での挽回。 	中
為替	<ul style="list-style-type: none"> 為替変動が不透明。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 船舶港湾 (+) ✓ 油空圧 (-) ※円安に振れた場合 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の140円/USDを下期145円/USDに見直し。 為替感応度： 1円円安変動 営業利益約+6百万円 購入部品の値上りに警戒。 	中
中国経済	<ul style="list-style-type: none"> 経済減速による販売への影響。 米中対立による輸出入規制等の影響。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 船舶港湾 ✓ 油空圧 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、先行手配や代替品への切り替えを行う予定。 高付加価値製品の拡販。 他地域での拡販。 	中

2025年3月期 業績予想

単位：百万円	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 予想	増減額	増減率	期初予想(5月10日)		
					予想	増減額	増減率
売上高	47,166	58,300	+11,134	+23.6%	57,300	+1,000	+1.7%
営業利益	2,768	4,100	+1,332	+48.1%	3,560	+540	+15.2%
経常利益	2,990	4,280	+1,290	+43.1%	3,780	+500	+13.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,277	3,090	+813	+35.7%	2,850	+240	+8.4%
売上高 営業利益率	5.9%	7.0%	+1.2%pt		6.2%	+0.8%pt	

- 上期業績の上振れ、下期の見直しを反映し、2024年5月10日に公表した業績予想を上方修正。営業利益については過去最高を見込む。

為替レート及び為替感応度

通貨	為替レート			感応度(下期)	
	2024年 3月期 実績	2025年3月期		基準	営業利益
		上期 実績	下期 予想		
USD	144.32円	153.98円	145.00円	1円円安になった場合	+6

- 期初設定レート (対USD): 140円
- 下期設定レート (対USD): 145円

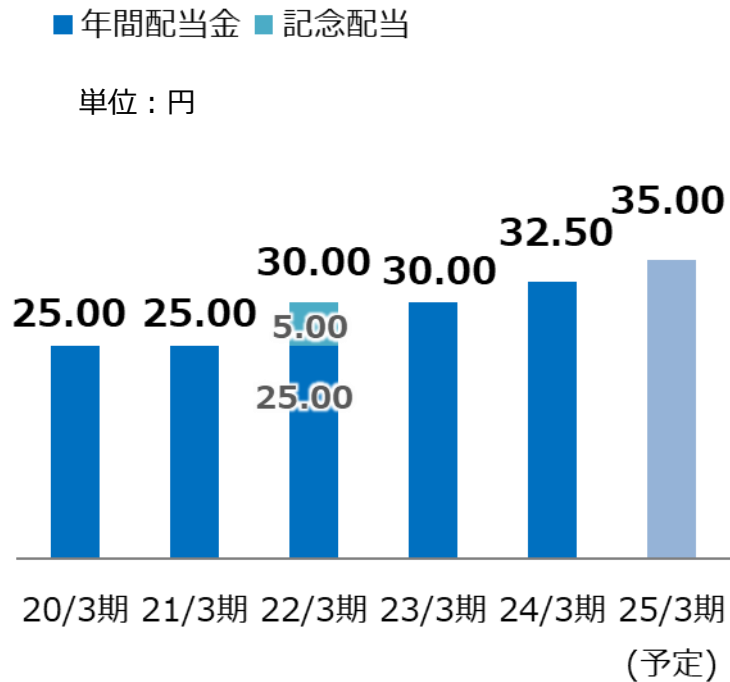
セグメント別業績予想

単位：百万円		2024年 3月期 実績	2025年 3月期 予想	増減額	増減率	期初予想（5月10日）			見通し
						予想	増減額	増減率	
船舶港湾	売上高	11,016	12,500	+1,484	+13.5%	11,400	+1,100	+9.6%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新造船需要や保守サービスが引き続き堅調に推移する見込み。 ■ 円安の継続がプラス影響。
	営業利益	1,006	1,500	+494	+49.1%	810	+690	+85.2%	
油空圧	売上高	11,675	11,500	▲175	▲1.5%	11,500	0	—	<ul style="list-style-type: none"> ■ プラスチック加工機械市場及び工作機械市場は需要回復を期待。 ■ 建設機械市場は、特装車の需要回復が見込めるものの、上期の減少分をカバーするに至らない見込み。 ■ 海外市場での製品構成変化で、原価率が上昇し利益は減少。
	営業利益	273	200	▲73	▲26.8%	360	▲160	▲44.4%	
流体	売上高	4,772	4,900	+128	+2.7%	4,900	0	—	<ul style="list-style-type: none"> ■ 官需市場は、工期の長期化により、次年度への繰り越しが発生。 ■ 消火設備市場は、新設工事が好調だが、容器弁点検需要のピークアウトの見込み。
	営業利益	733	520	▲213	▲29.0%	610	▲90	▲14.8%	
防衛・通信	売上高	16,185	25,000	+8,815	+54.5%	25,100	▲100	▲0.4%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防衛事業は、防衛予算増加を背景に防衛機器の受注が引き続き好調に推移する見込み。売上は計画どおり四半期毎に増加し、例年以上に第4四半期に偏重。 ■ 予定した設備投資や人材獲得を着実に進め、過去最高の受注残高を売上につなげていく。
	営業利益	362	1,350	+988	+273.3%	1,350	0	—	
その他	売上高	3,517	4,400	+883	+25.1%	4,400	0	—	<ul style="list-style-type: none"> ■ 検査機器事業は、設備の老朽化更新に期待。 ■ 鉄道機器事業は、計画どおり主力の超音波レール探傷車を第4四半期に販売予定。
	営業利益	502	620	+118	+23.6%	540	+80	+14.8%	
合計	売上高	47,166	58,300	+11,134	+23.6%	57,300	+1,000	+1.7%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上高、営業利益とも上方修正。営業利益は過去最高を見込む。
	営業利益	2,768	4,100	+1,332	+48.1%	3,560	+540	+15.2%	

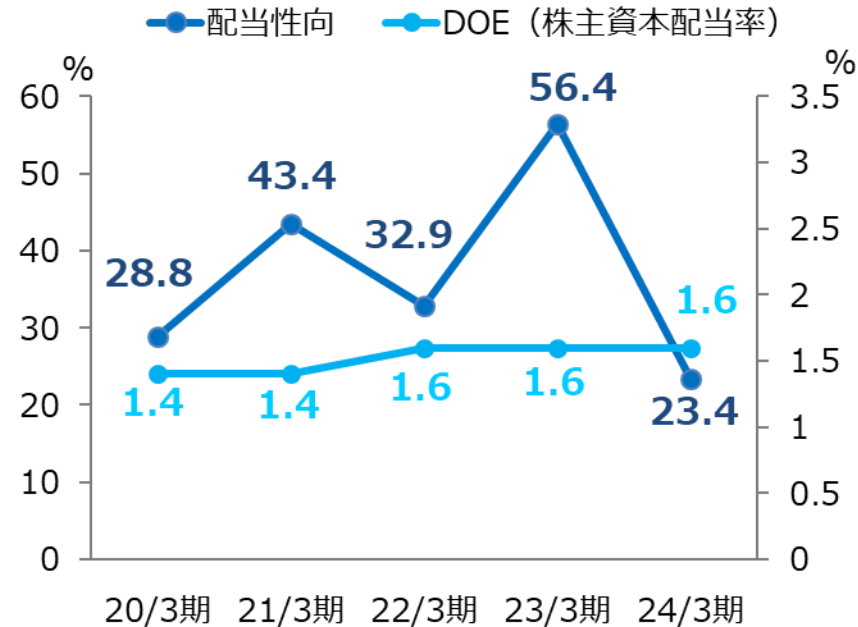
(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

株主還元

配当金の推移



配当性向とDOEの推移



配当基本方針

- 「東京計器ビジョン2030」の実現による企業価値向上に向け、成長投資を最優先としつつ、財務基盤とのバランスを考慮しながら、最適資本構成を意識した最適な株主還元施策を実施する。
- 毎期の配当については、過去の配当実績も勘案し、安定的かつ継続的な株主還元を努める。

配当金

当期

35.00円

※2000年度以降の過去最高を2期連続更新

株主優待

- 対象となる株主様の保有株式数に応じてポイントを贈呈。
- ポイントを株主様限定の特設ウェブサイト「東京計器プレミアム優待倶楽部」において、お好みの商品と交換。
- 詳細は株主様限定ウェブサイトでご確認ください。
<https://tokyokeiki.premium-yutaiclub.jp/>

資料の内容

1. 2025年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2025年3月期 通期見通し

3. トピックス

<ご参考資料>

- 業績推移
- 事業紹介

1. 「第27回 油圧・空気圧・水圧国際見本市」 新製品 建設機械向けコントローラーCX2500等を展示

日本で唯一のフルードパワー※1技術の専門見本市“IFPEX2024 第27回 油圧・空気圧・水圧国際見本市”が、9月18～20日にかけて東京ビッグサイトで開催され、当社グループは新製品の建設機械向けコントローラーCX2500などを展示しました。

※1 フルードパワー：流体（気体、液体）のエネルギーを利用して、機械や装置を動かしたり停止させたりする駆動方式

展示会の様子

今回は「解りやすい」をテーマに建設機械や産業機械といった対象市場ごとにエリアを分けて製品を展示。さらに、複数の体験デモを用意し、油圧になじみのない学生などにも分かりやすく原理や技術を紹介できるよう工夫しました。



対象市場ごとにエリアを分けた製品展示



体験デモは学生にも好評

建設機械向けコントローラー CX2500

- 建設機械、道路機械向けの汎用コントローラー。
- 建設機械向けのPLC※2として国内で初めてCODESYS® ※3に対応。
- 豊富な入出力インターフェースを備え、メインコントローラーとして使える機能性を保有。
- 機能が1パッケージにまとまり、省スペース化を実現。

※2 PLC=Programmable Logic Controller：機械・装置を制御するコントローラーのこと。入力機器からの信号を取り込み、組み込まれているプログラムに従ってさまざまな処理を行い、接続された出力機器を制御します。

※3 CODESYS®：ドイツCODESYS社の登録商標で、世界で最も使われているPLC開発のためのソフトウェアプラットフォーム。



ピストンポンプとコントローラーのシステム構成例



2. 流体機器事業：超音波流量計、電波レベル計の新製品を投入

流体機器事業では、2024年6月に電波レベル計、10月に超音波流量計の新製品をリリースしました。

液体用電池駆動式 クランプオン形 超音波流量計 UC-1

UC-1は、簡単取付・簡単設定の超音波流量計です。
流体計測機器の専門メーカー、株式会社オーバルと共同開発しました。

【特長】

- 配管の切断工事が不要なクランプオン方式
- 内蔵電池により外部電源が不要
- 配線工事不要、さらに取付工具も不要な「完全工事レス」

UC-1が2024年度グッドデザイン賞受賞

導入コストの大幅な削減を実現し、さらに機能美を追求したプロダクトデザインが高く評価されました。

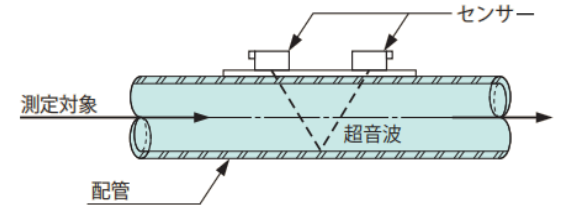
※グッドデザイン賞：公益財団法人日本デザイン振興会が主催する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動。受賞のシンボルマークである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。



クランプオン形 超音波流量計の仕組み

「流量」とは、流体（液体）が移動する量のこと、流量計はどの程度の量が流れたのかを計る計器です。

超音波は物質を透過して伝搬するため、配管の外側に取付けて配管内部の流量を測定することができます。



- ① センサーから超音波を発信。
- ② 発信された超音波は流れに逆らうと遅く伝わり、逆に流れに従うと速く伝わる。
- ③ 管内の流体を斜めに横切って交互に超音波を送受信し、2つの超音波の伝搬時間の差を流量に換算。

ミリ波レーダ式 レベル計 MW-20

MW-20は、マイクロ波の中でも高周波帯に属する周波数77~81GHzのミリ波を使用した電波レベル計です。

【特長】

- ミリ波の使用により絞られたビームを発信でき、小型化も実現
- 最大100mまで計測可能
- 電波法適合品のため、河川、海、市街地などの開放空間でも使用可能



電波レベル計の仕組み

電波レベル計とは、マイクロ波を送受信器から発射し、測定面から反射されて返ってくるまでの時間から、液位（液面のレベル）を計測する計器です。
ミリ波による狭いビームで、より安定した計測が可能です。



3. 民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」にサポーターティングカンパニーとして参画

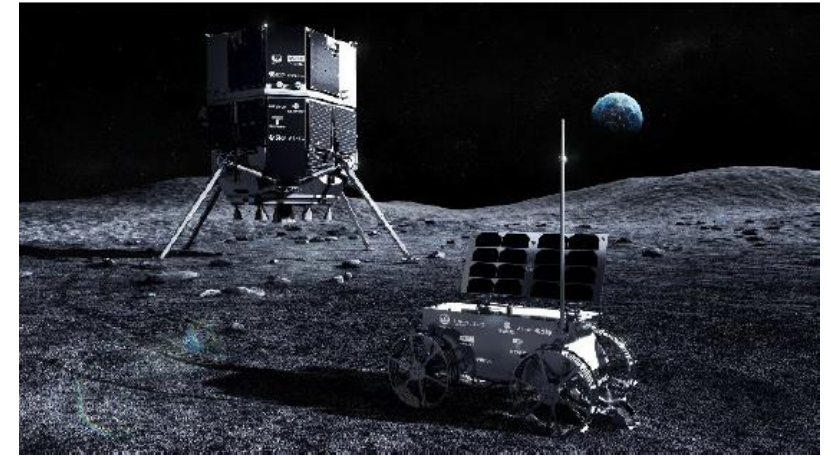
当社は、株式会社ispaceが行う民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」にサポーターティングカンパニーとして参画し、宇宙事業の拡大に取り組みます。

「HAKUTO-R」とは

ispace社が行う2回の月面探査ミッションを統括するプログラムです。

同社は本プログラムにおいて、独自のランダー（月着陸船）とローバー（月面探査車）を開発し、2022年12月に月着陸ミッションの打ち上げを実施、2023年4月に月面着陸に挑戦しました。最速2024年12月※1には月面探査ミッションの打ち上げを行う予定です。

※1 2024年10月時点の想定。



民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」のランダーとローバー
(イメージ)

当社は2030年に向けた「東京計器ビジョン2030」の成長ドライバーの一つとして宇宙事業を掲げ、これまでに衛星組立事業への取り組みや衛星部品の開発企業との協業を進めてきました。

今後、ispace社と宇宙用機器の研究開発を協業し、安全な社会の実現に貢献してまいります。



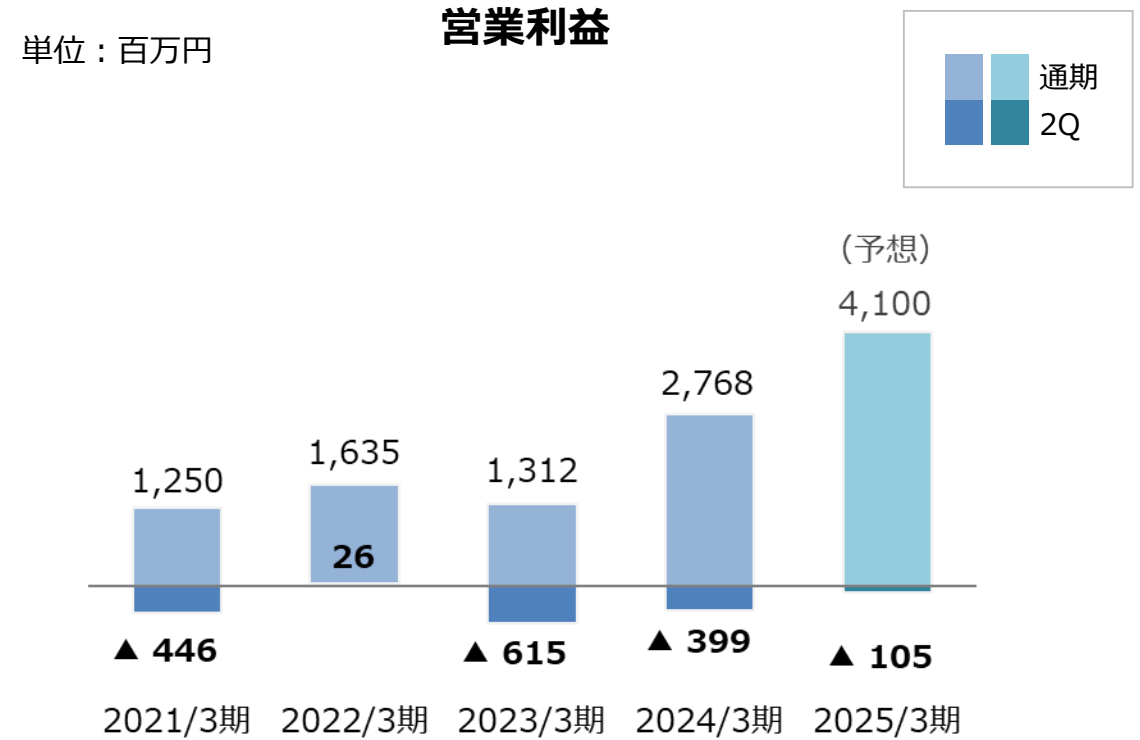
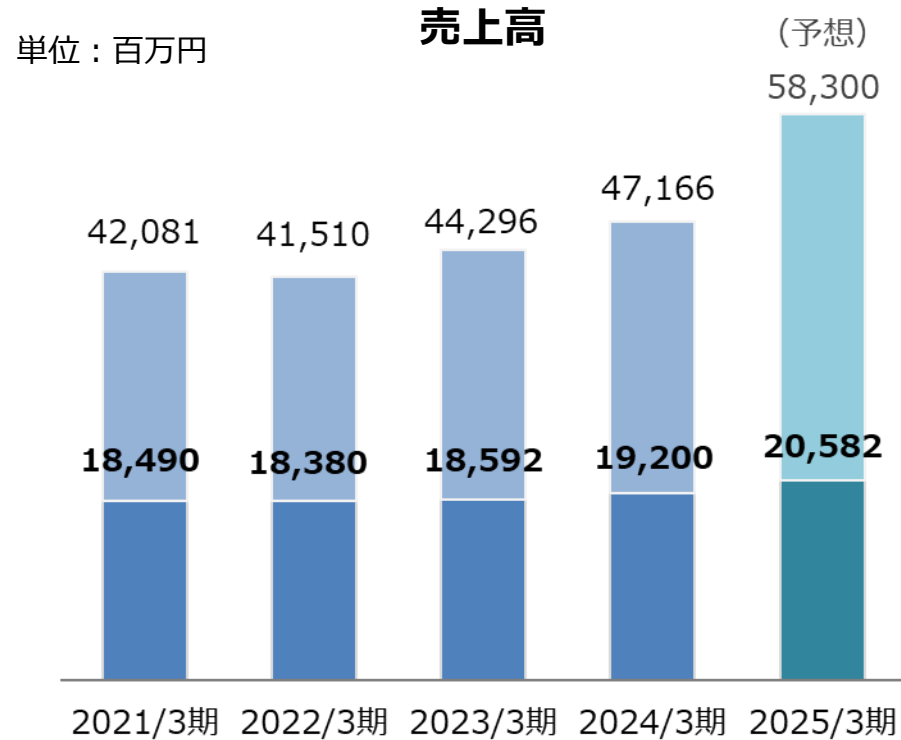
資料の内容

1. 2025年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2025年3月期 通期見通し
3. トピックス

<ご参考資料>

- **業績推移**
- 事業紹介

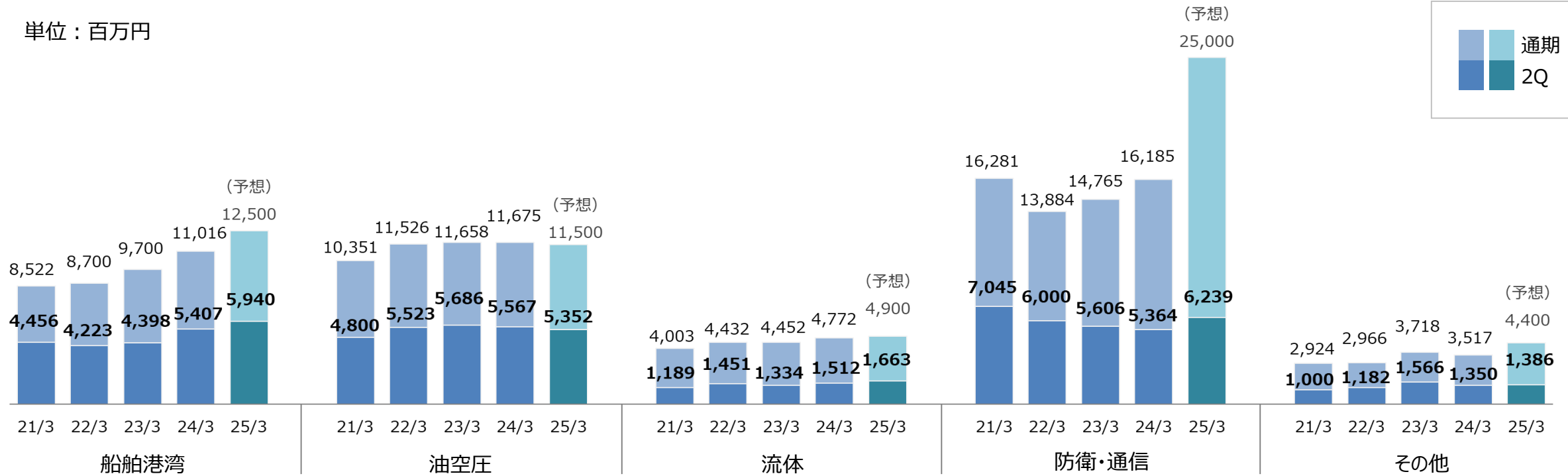
第2四半期 売上高・営業利益推移



単位：百万円	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (増減率)
売上高	18,490	18,380	18,592	19,200	20,582	+1,382	+7.2%
営業利益	▲ 446	26	▲ 615	▲ 399	▲ 105	+294	-
経常利益	▲ 310	235	▲ 322	▲ 259	28	+287	-
当期純利益	▲ 210	229	▲ 229	▲ 237	63	+300	-

セグメント別 第2四半期売上高推移

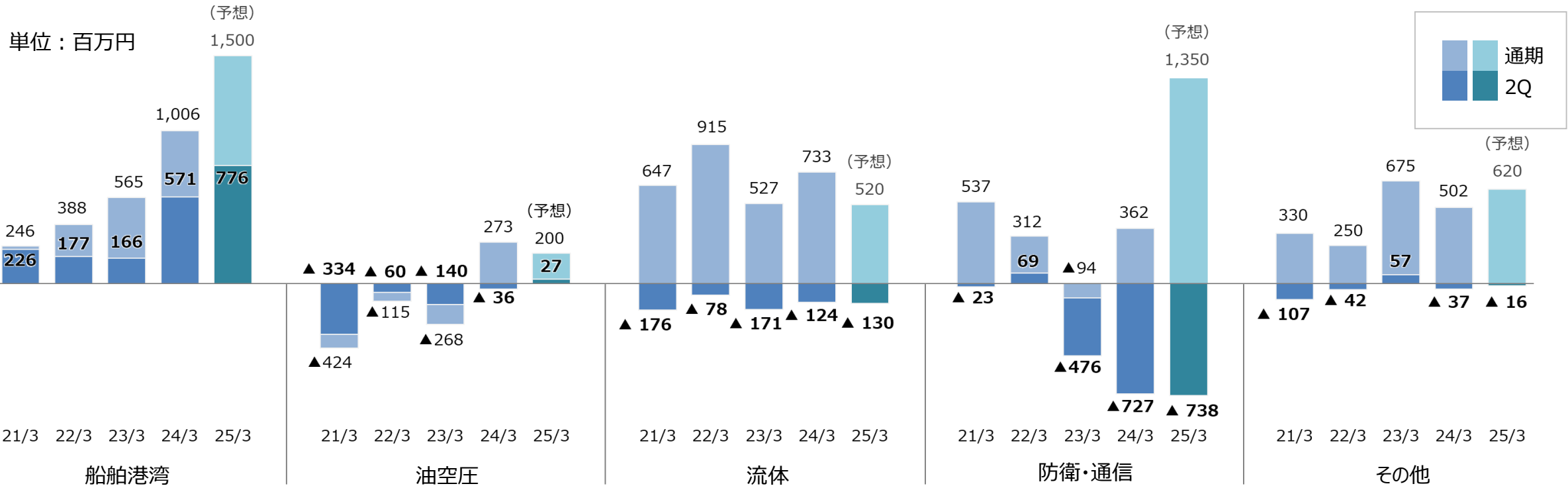
単位：百万円



(単位：百万円)	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (増減率)
船舶港湾	4,456	4,223	4,398	5,407	5,940	+533	+9.9%
油空圧	4,800	5,523	5,686	5,567	5,352	▲214	▲3.9%
流体	1,189	1,451	1,334	1,512	1,663	+152	+10.0%
防衛・通信	7,045	6,000	5,606	5,364	6,239	+875	+16.3%
その他	1,000	1,182	1,566	1,350	1,386	+36	+2.7%

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

セグメント別 第2四半期営業利益推移

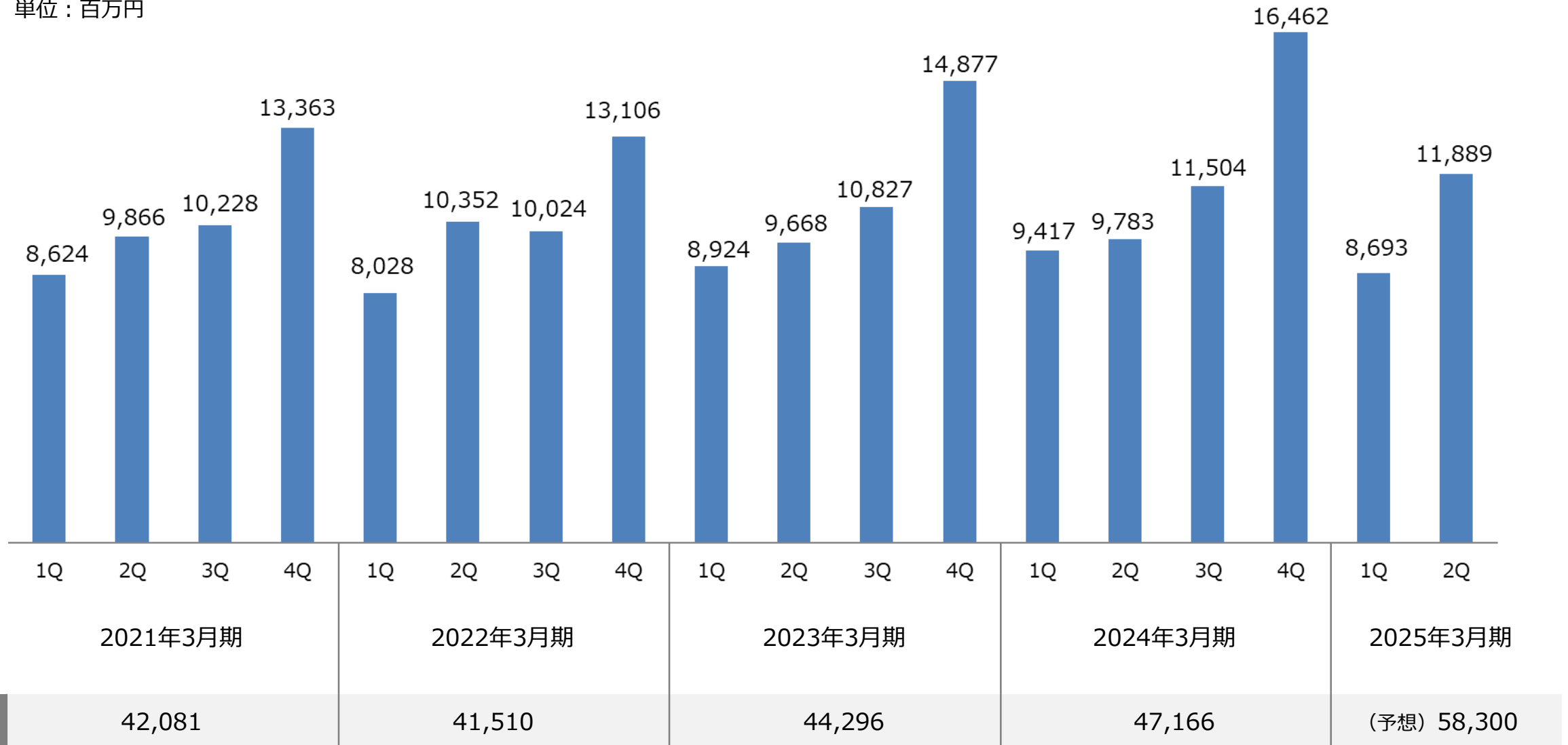


(単位：百万円)	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (増減率)
船舶港湾	226	177	166	571	776	+205	+36.0%
油空圧	▲334	▲60	▲140	▲36	27	+63	-
流体	▲176	▲78	▲171	▲124	▲130	▲7	-
防衛・通信	▲23	69	▲476	▲727	▲738	▲11	-
その他	▲107	▲42	57	▲37	▲16	+21	-

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

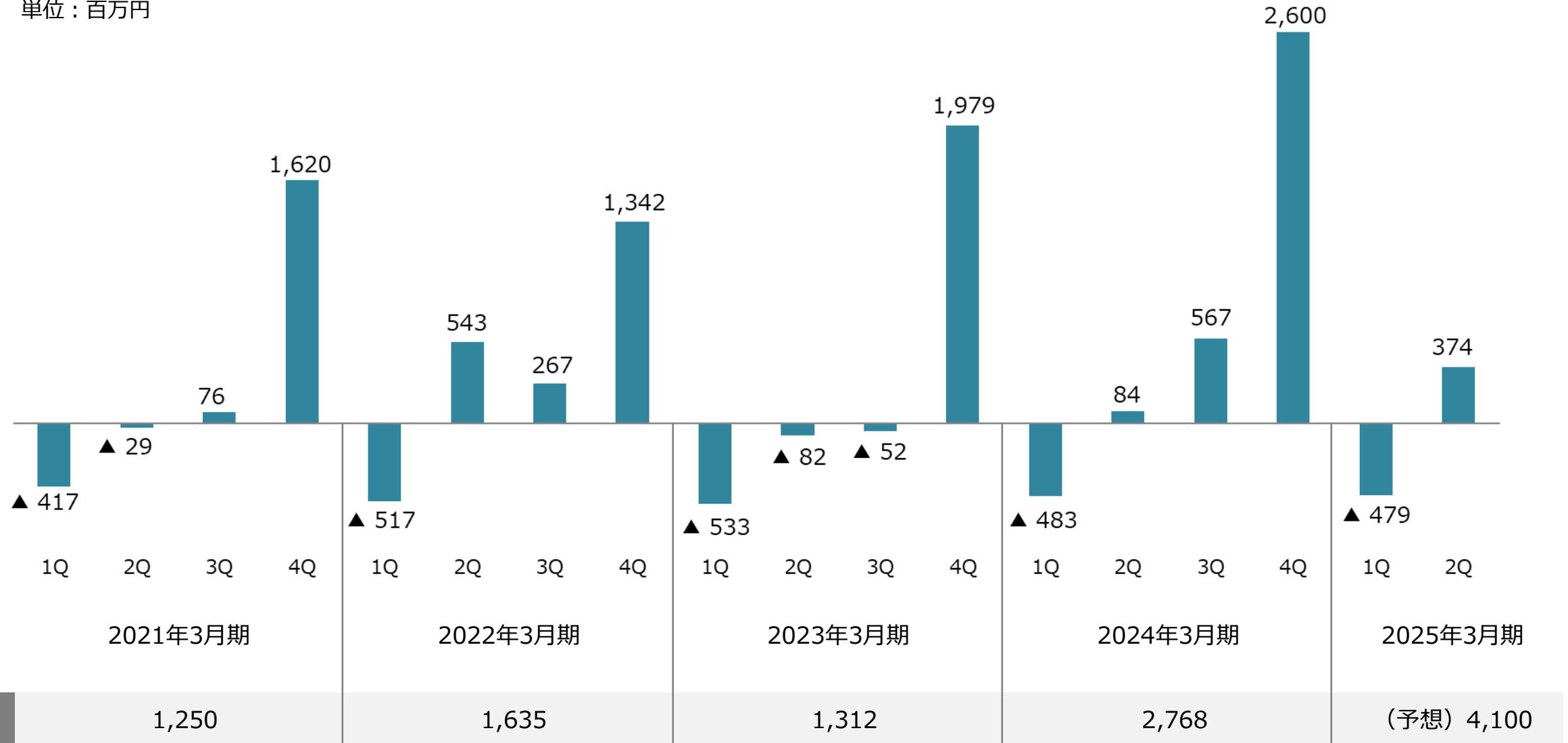
四半期 売上高推移

単位：百万円



四半期 営業利益推移

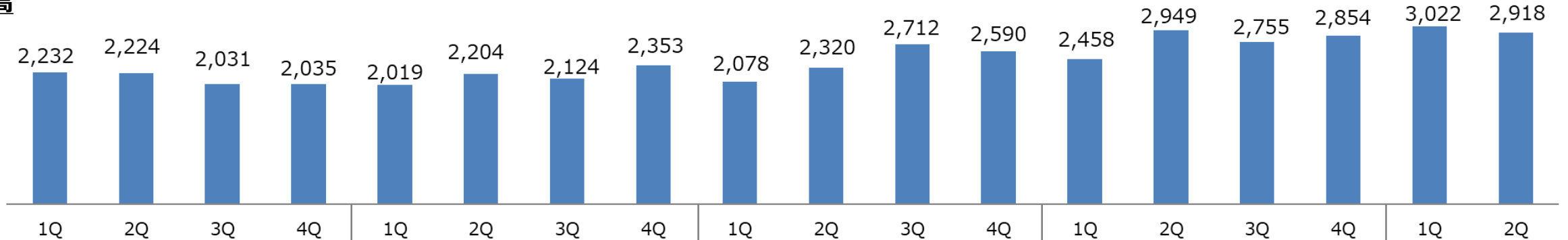
単位：百万円



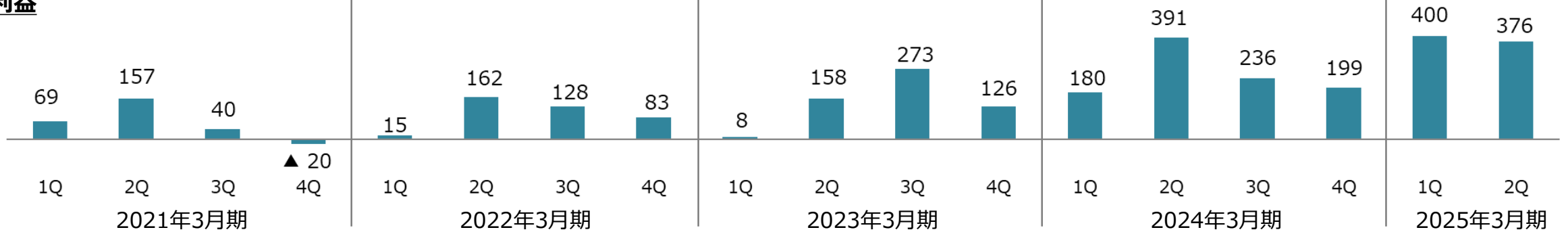
セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：船舶港湾

単位：百万円

売上高



営業利益

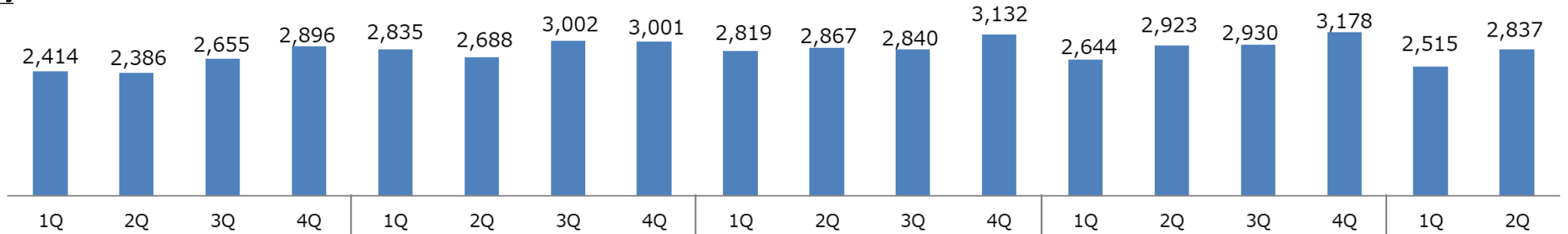


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	2,232	69	2,019	15	2,078	8	2,458	180	3,022	400
2Q	2,224	157	2,204	162	2,320	158	2,949	391	2,918	376
3Q	2,031	40	2,124	128	2,712	273	2,755	236		
4Q	2,035	▲20	2,353	83	2,590	126	2,854	199		
通期	8,522	246	8,700	388	9,700	565	11,016	1,006	(予想) 12,500	(予想) 1,500

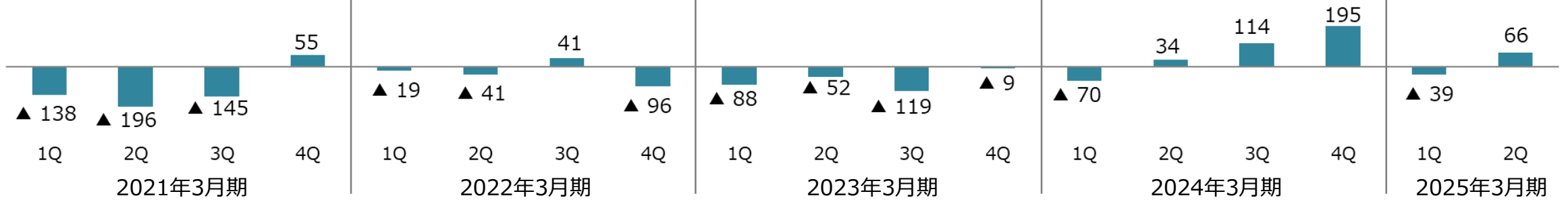
セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：油空圧

単位：百万円

売上高



営業利益

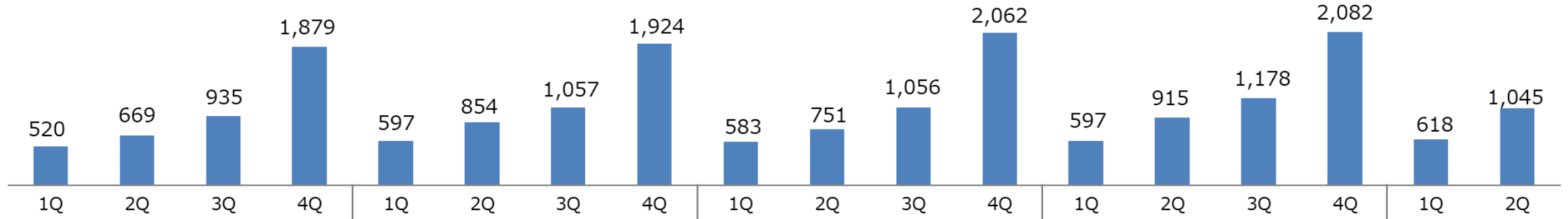


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	2,414	▲138	2,835	▲19	2,819	▲88	2,644	▲70	2,515	▲39
2Q	2,386	▲196	2,688	▲41	2,867	▲52	2,923	34	2,837	66
3Q	2,655	▲145	3,002	41	2,840	▲119	2,930	114	-	-
4Q	2,896	55	3,001	▲96	3,132	▲9	3,178	195	-	-
通期	10,351	▲424	11,526	▲115	11,658	▲268	11,675	273	(予想) 11,500	(予想) 200

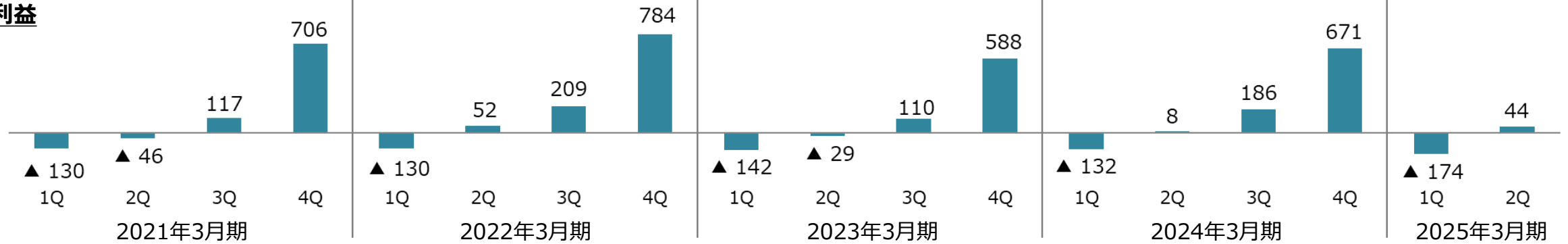
セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：流体

単位：百万円

売上高



営業利益

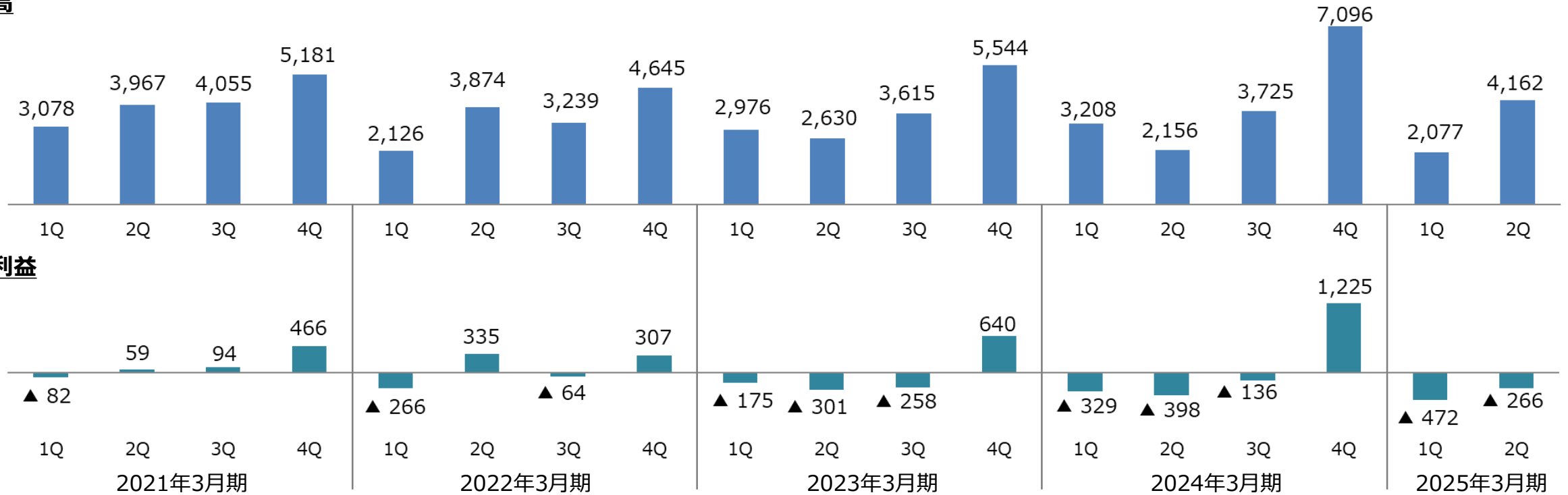


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	520	▲130	597	▲130	583	▲142	597	▲132	618	▲174
2Q	669	▲46	854	52	751	▲29	915	8	1,045	44
3Q	935	117	1,057	209	1,056	110	1,178	186		
4Q	1,879	706	1,924	784	2,062	588	2,082	671		
通期	4,003	647	4,432	915	4,452	527	4,772	733	(予想) 4,900	(予想) 520

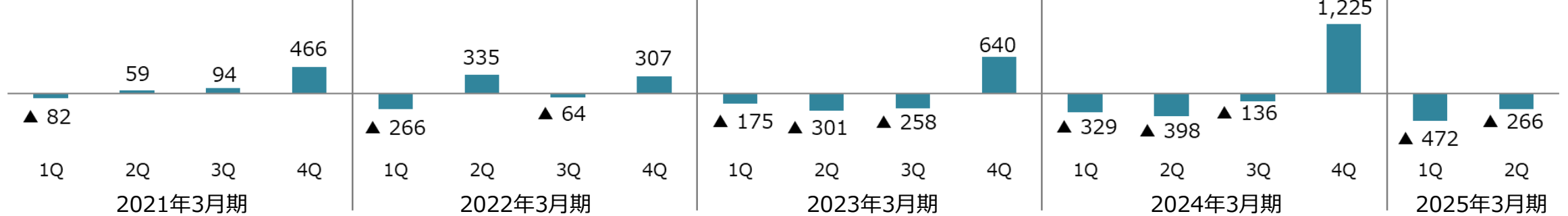
セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：防衛・通信

単位：百万円

売上高



営業利益

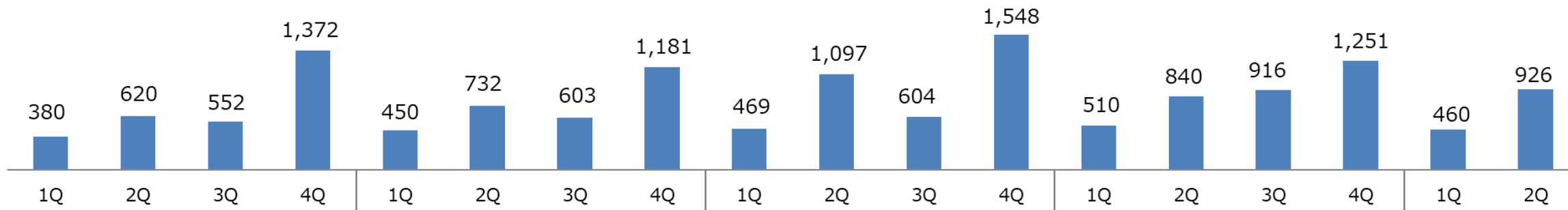


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	3,078	▲82	2,126	▲266	2,976	▲175	3,208	▲329	2,077	▲472
2Q	3,967	59	3,874	335	2,630	▲301	2,156	▲398	4,162	▲266
3Q	4,055	94	3,239	▲64	3,615	▲258	3,725	▲136		
4Q	5,181	466	4,645	307	5,544	640	7,096	1,225		
通期	16,281	537	13,884	312	14,765	▲94	16,185	362	(予想) 25,000	(予想) 1,350

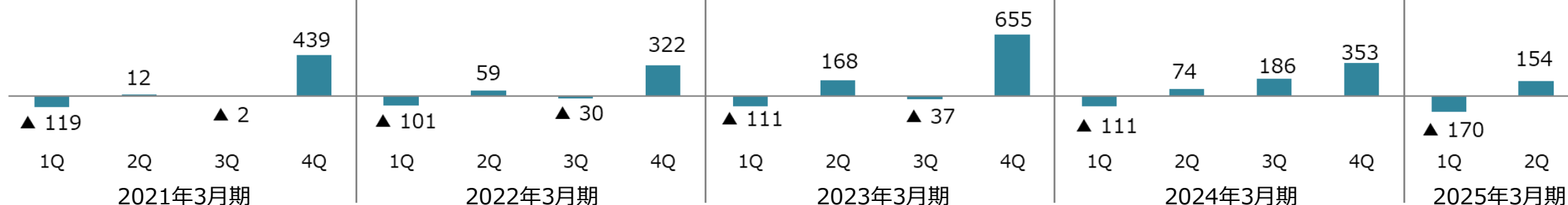
セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：その他

単位：百万円

売上高

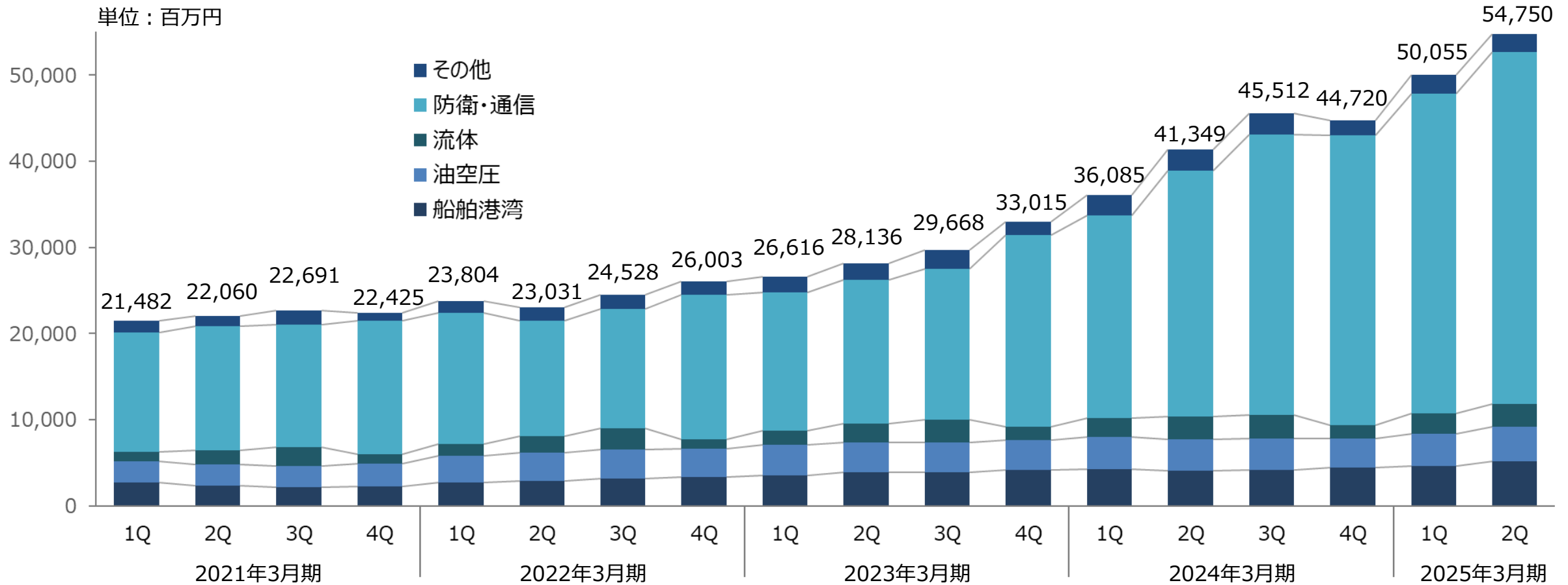


営業利益



	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	380	▲119	450	▲101	469	▲111	510	▲111	460	▲170
2Q	620	12	732	59	1,097	168	840	74	926	154
3Q	552	▲2	603	▲30	604	▲37	916	186		
4Q	1,372	439	1,181	322	1,548	655	1,251	353		
通期	2,924	330	2,966	250	3,718	675	3,517	502	(予想) 4,400	(予想) 620

四半期 受注残高推移

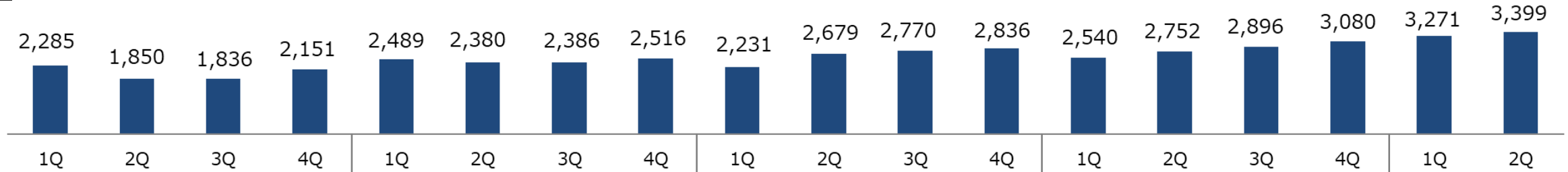


	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
1Q	21,482	23,804	26,616	36,085	50,055
2Q	22,060	23,031	28,136	41,349	54,750
3Q	22,691	24,528	29,668	45,512	
4Q	22,425	26,003	33,015	44,720	

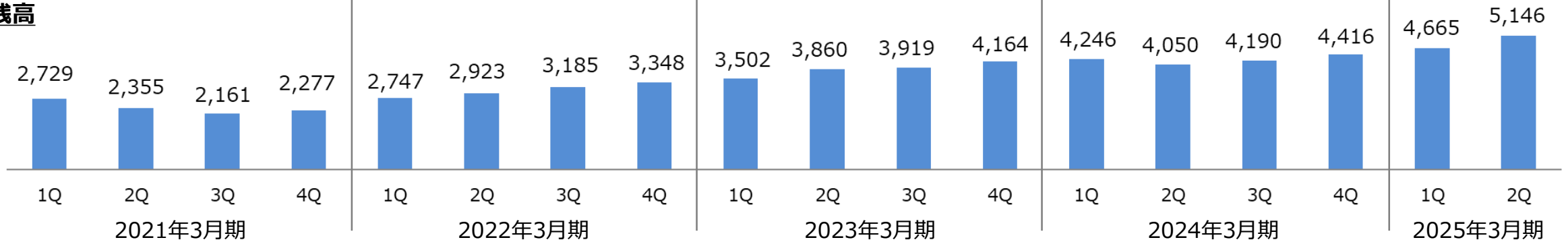
セグメント別 四半期 受注・受注残高推移：船舶港湾

単位：百万円

受注高



受注残高

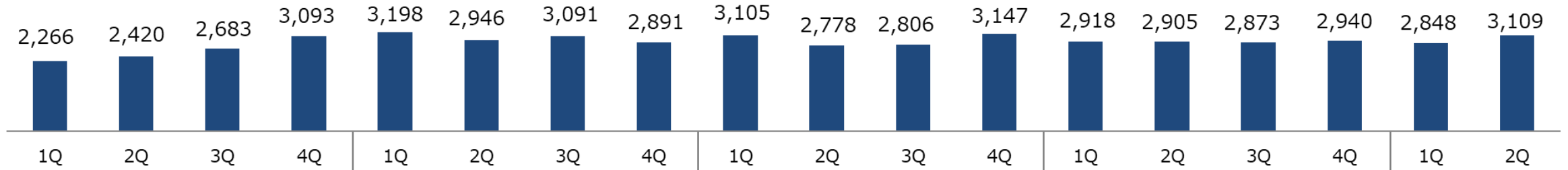


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
1Q	2,285	2,729	2,489	2,747	2,231	3,502	2,540	4,246	3,271	4,665
2Q	1,850	2,355	2,380	2,923	2,679	3,860	2,752	4,050	3,399	5,146
3Q	1,836	2,161	2,386	3,185	2,770	3,919	2,896	4,190	-	-
4Q	2,151	2,277	2,516	3,348	2,836	4,164	3,080	4,416	-	-
通期	8,123	2,277	9,772	3,348	10,516	4,164	11,268	4,416	-	-

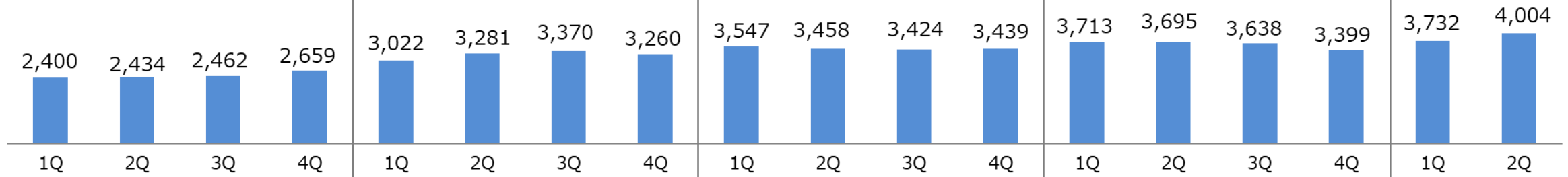
セグメント別 四半期 受注・受注残高推移：油空圧

単位：百万円

受注高



受注残高



2021年3月期

2022年3月期

2023年3月期

2024年3月期

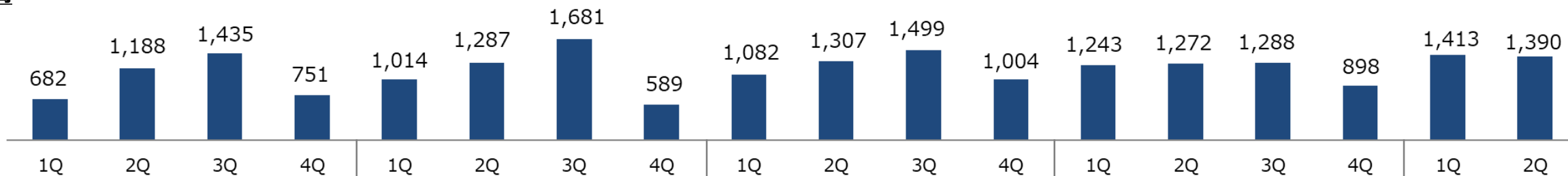
2025年3月期

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
1Q	2,266	2,400	3,198	3,022	3,105	3,547	2,918	3,713	2,848	3,732
2Q	2,420	2,434	2,946	3,281	2,778	3,458	2,905	3,695	3,109	4,004
3Q	2,683	2,462	3,091	3,370	2,806	3,424	2,873	3,638	-	-
4Q	3,093	2,659	2,891	3,260	3,147	3,439	2,940	3,399	-	-
通期	10,463	2,659	12,126	3,260	11,836	3,439	11,635	3,399	-	-

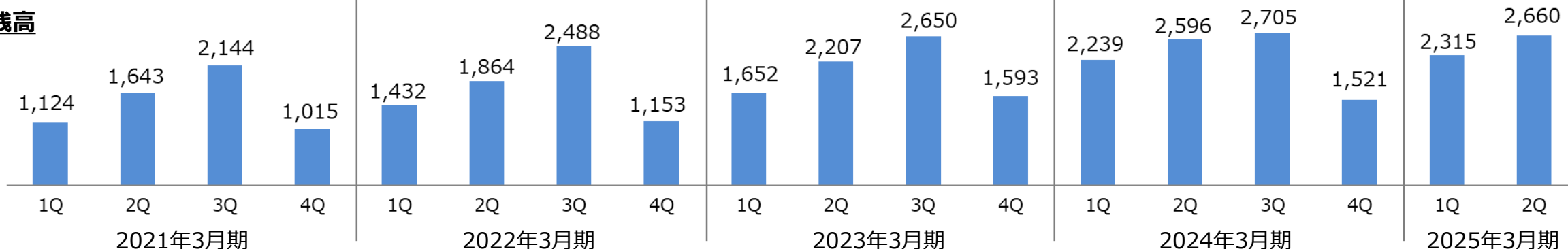
セグメント別 四半期 受注・受注残高推移：流体

単位：百万円

受注高



受注残高

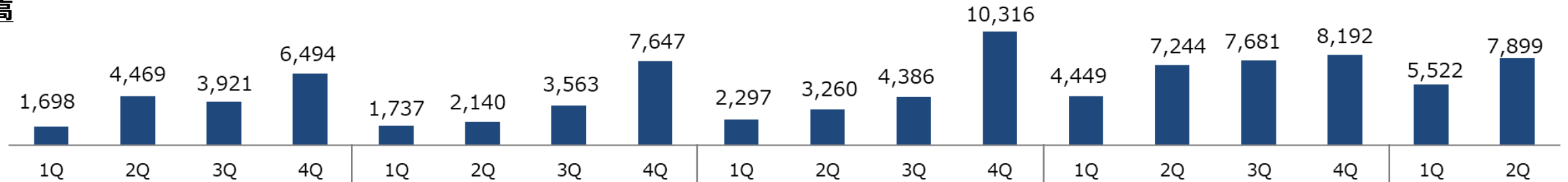


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
1Q	682	1,124	1,014	1,432	1,082	1,652	1,243	2,239	1,413	2,315
2Q	1,188	1,643	1,287	1,864	1,307	2,207	1,272	2,596	1,390	2,660
3Q	1,435	2,144	1,681	2,488	1,499	2,650	1,288	2,705	-	-
4Q	751	1,015	589	1,153	1,004	1,593	898	1,521	-	-
通期	4,055	1,015	4,571	1,153	4,892	1,593	4,700	1,521	-	-

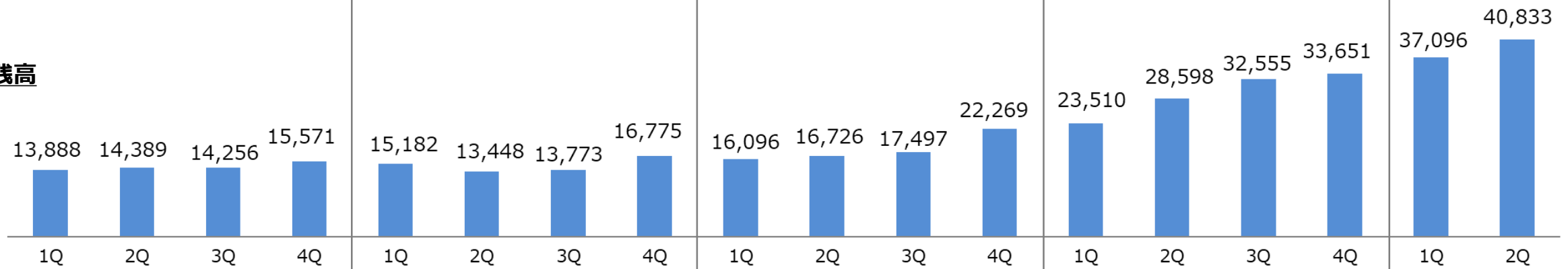
セグメント別 四半期 受注・受注残高推移：防衛・通信

単位：百万円

受注高



受注残高



2021年3月期

2022年3月期

2023年3月期

2024年3月期

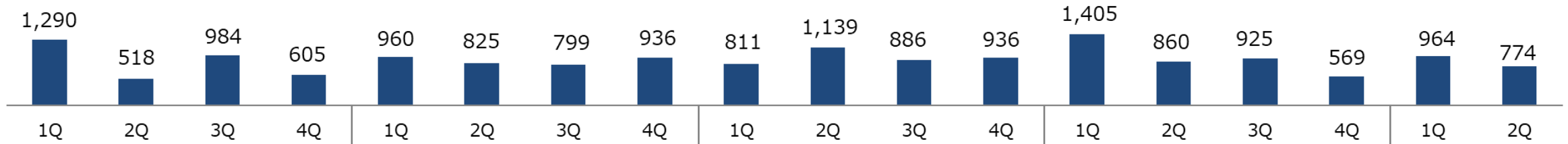
2025年3月期

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
1Q	1,698	13,888	1,737	15,182	2,297	16,096	4,449	23,510	5,522	37,096
2Q	4,469	14,389	2,140	13,448	3,260	16,726	7,244	28,598	7,899	40,833
3Q	3,921	14,256	3,563	13,773	4,386	17,497	7,681	32,555	-	-
4Q	6,494	15,571	7,647	16,775	10,316	22,269	8,192	33,651	-	-
通期	16,582	15,571	15,088	16,775	20,259	22,269	27,566	33,651	-	-

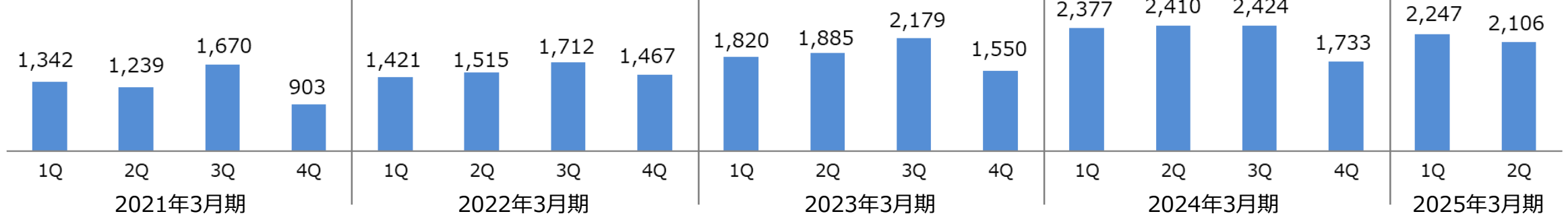
セグメント別 四半期 受注・受注残高推移：その他

単位：百万円

受注高



受注残高



	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
1Q	1,290	1,342	960	1,421	811	1,820	1,405	2,377	964	2,247
2Q	518	1,239	825	1,515	1,139	1,885	860	2,410	774	2,106
3Q	984	1,670	799	1,712	886	2,179	925	2,424	-	-
4Q	605	903	936	1,467	936	1,550	569	1,733	-	-
通期	3,398	903	3,520	1,467	3,771	1,550	3,759	1,733	-	-

セグメント別 四半期 受注残高推移 一覧表

単位：百万円		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
船舶港湾	1Q	2,729	2,747	3,502	4,246	4,665
	2Q	2,355	2,923	3,860	4,050	5,146
	3Q	2,161	3,185	3,919	4,190	
	4Q	2,277	3,348	4,164	4,416	
油空圧	1Q	2,400	3,022	3,547	3,713	3,732
	2Q	2,434	3,281	3,458	3,695	4,004
	3Q	2,462	3,370	3,424	3,638	
	4Q	2,659	3,260	3,439	3,399	
流体	1Q	1,124	1,432	1,652	2,239	2,315
	2Q	1,643	1,864	2,207	2,596	2,660
	3Q	2,144	2,488	2,650	2,705	
	4Q	1,015	1,153	1,593	1,521	
防衛・通信	1Q	13,888	15,182	16,096	23,510	37,096
	2Q	14,389	13,448	16,726	28,598	40,833
	3Q	14,256	13,773	17,497	32,555	
	4Q	15,571	16,775	22,269	33,651	
その他	1Q	1,342	1,421	1,820	2,377	2,247
	2Q	1,239	1,515	1,885	2,410	2,106
	3Q	1,670	1,712	2,179	2,424	
	4Q	903	1,467	1,550	1,733	

資料の内容

1. 2025年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2025年3月期 通期見通し
3. トピックス

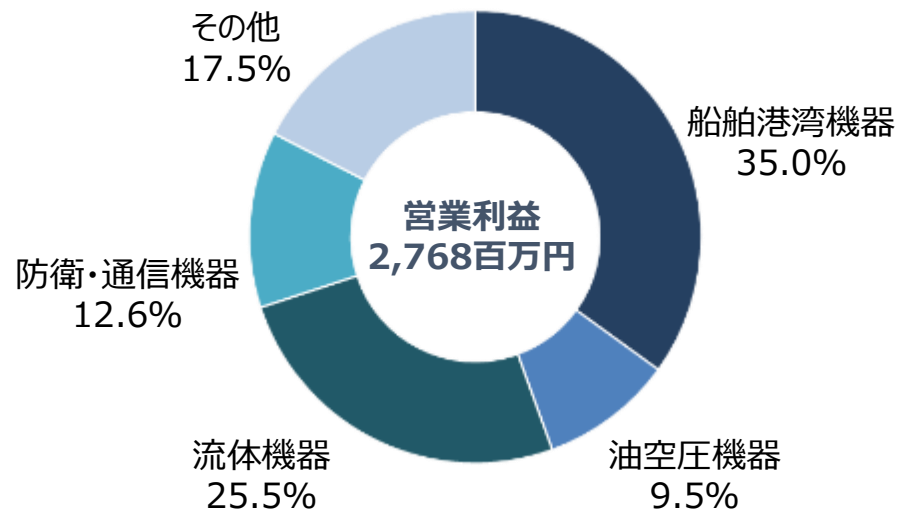
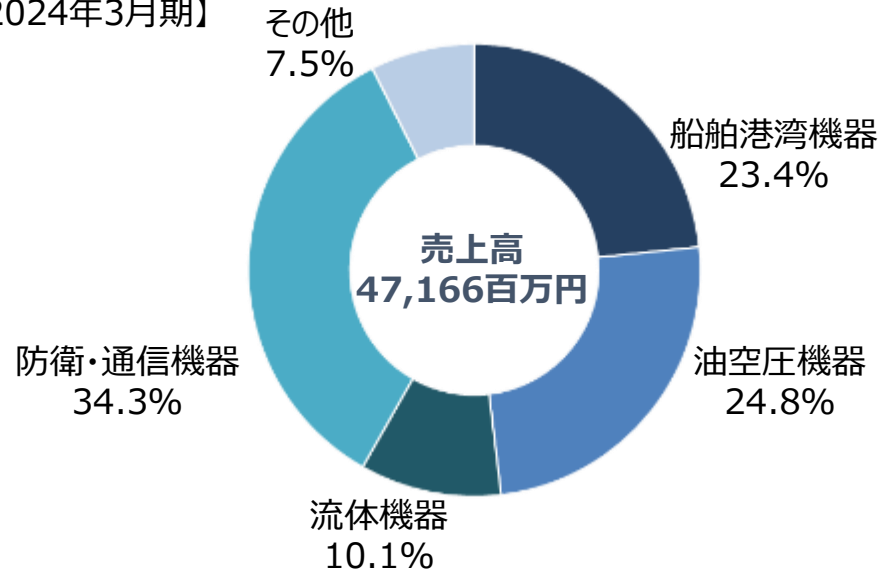
<ご参考資料>

- 業績推移
- **事業紹介**

東京計器グループの主要事業紹介

東京計器グループの事業は4つのセグメント及びその他事業に分かれ、その中に11の事業があります。

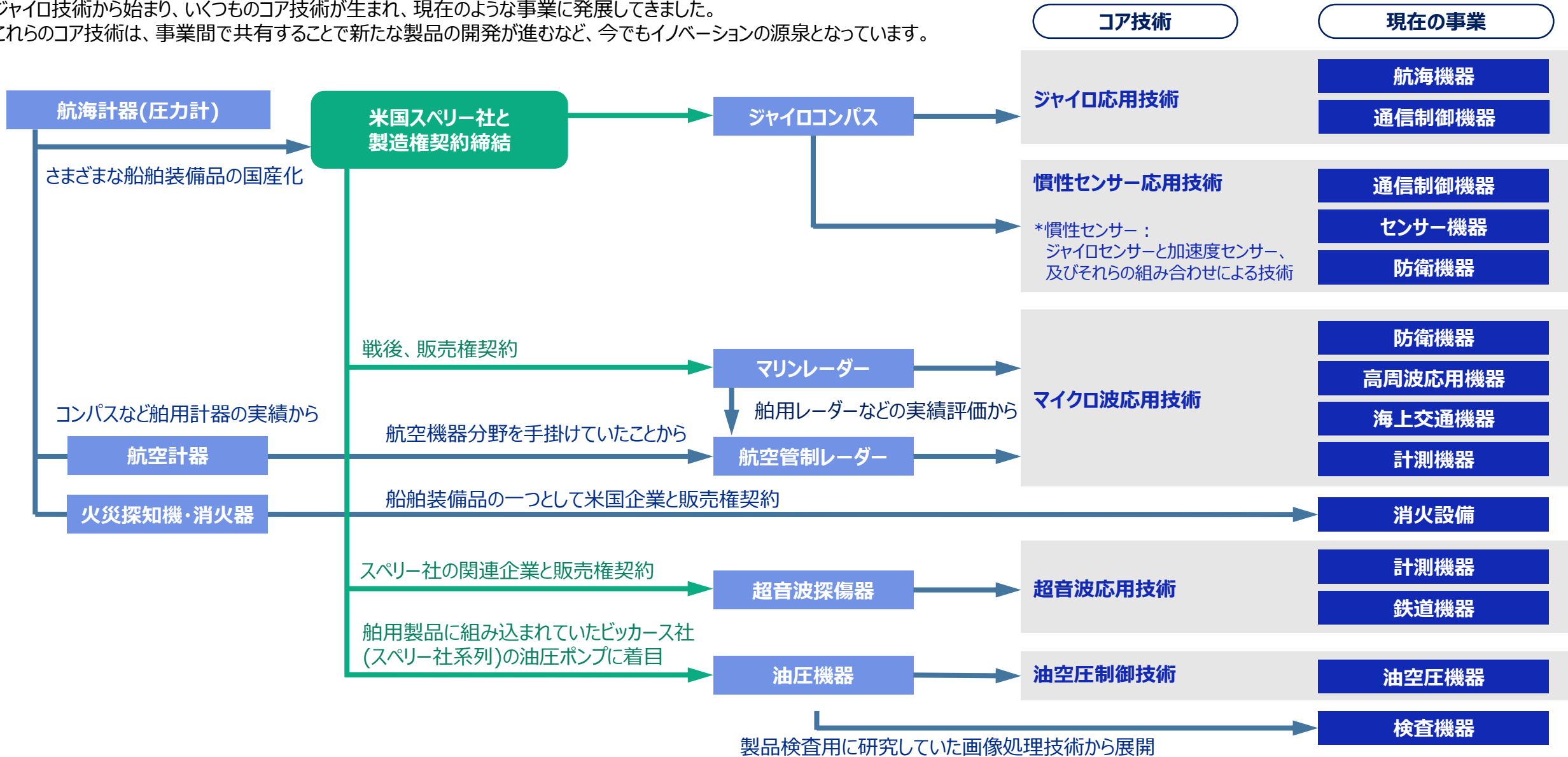
【2024年3月期】



セグメント (4+その他)	事業 (11)
船舶港湾機器事業	■ 航海機器
油空圧機器事業	■ 油空圧機器
流体機器事業	■ 計測機器 ■ 消火設備
防衛・通信機器事業	■ 防衛機器 ■ 海上交通機器 ■ センサー機器 ■ 高周波応用機器 (マイクロ波応用機器) ■ 通信制御機器
その他事業	■ 検査機器 ■ 鉄道機器

コア技術創出の歴史






東京計器グループの事業の源は、明治時代、航海計器の開発に遡ります。ジャイロ技術から始まり、いくつものコア技術が生まれ、現在のような事業に発展してきました。これらのコア技術は、事業間で共有することで新たな製品の開発が進むなど、今でもイノベーションの源泉となっています。



航海機器	船舶の安全航行、省エネ操船に貢献	業界シェア
<p>航海機器</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>自動操舵など 操縦系統を担う オートパイロット</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>方位を指し示す ジャイロコンパス</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>センサー部に定期交換の 必要な可動部分が無い 光ファイバージャイロ (FOG)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海図情報を表示するECDIS (電子海図情報表示装置)</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ 操船に必要な航海計器をトータルでラインナップし、グローバルに提供。 ■ 日本で最初にジャイロコンパスやオートパイロット、レーダーの生産を開始した、航海計器のパイオニア。 	<p>ジャイロコンパス・ オートパイロット</p> <p>世界の商船 6割以上</p> <p>国内内航船 8割以上</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>「無人運航船の実現に向けた DFFASプロジェクト」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「ウインドチャレンジャー プロジェクト」</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ ジャイロコンパス、オートパイロットのトップ企業として、無人運航船開発プロジェクトやGHG排出削減に貢献する風力推進船プロジェクトに参画。 	

油空圧機器事業

油空圧機器	ものづくり、インフラづくりの現場で活躍	業界シェア
産業機械向け	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>流量や圧力を制御する ポンプ回転数制御システム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工作機械や一般産業機械の 油圧動力源として広く利用 される小形パワーユニット</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>あらゆる油圧機器に 用いられる電磁切換弁</p> </div> </div> <p>■ 射出成形機、工作機械、自動車製造用ダイカストマシン等に、省エネ・制御性に優れた油空圧機器を提供。</p>	<p>国内プラスチック 射出成形機用 約4割</p>
建設機械向け	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>電気ダイレクト制御ピストンポンプ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コントローラー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ディスプレイ</p> </div> </div> <p>■ 主にクレーン、高所作業車等の特装車向けに油圧製品と駆動を制御する電子機器を提供。</p>	
水素エネルギー活用	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>水素ステーション向け水素圧縮装置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>分割モジュール式水素圧縮パッケージ</p> </div> </div> <p>■ 水素ステーション向け油圧式水素圧縮装置や分割モジュール式水素圧縮パッケージを提供。</p>	

計測機器	暮らしと人命を守る：水資源の管理や河川防災で生活の安全に貢献	業界シェア
<p>流量・水位 監視</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>上水、農業用水、工業用水の監視等に使用される超音波流量計</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高精度な流量監視・制御により、無駄のない水資源の有効活用を実現する高精度超音波流量計</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>食品工場や石油タンクなどのプラントでも活躍する電波レベル計</p> </div> </div> <p>■ 超音波流量計を世界で初めて実用化したパイオニア。 ■ 超音波流量計は、上下水道や農業用水配管網の流量監視で活躍。</p>	<p>国内上下水道、農業用水向け 6割以上</p>
<p>国土防災</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>河川の水位上昇をいち早く知らせる危機管理型水位計</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>下水がマンホールから溢れ出ることによる都市水害の危険を知らせる溢水対策水位計</p> </div> </div> <p>■ 電波レベル計を利用したシステムで、相次ぐ河川氾濫や都市水害から人命を守る。</p>	
<p>消火設備</p>	<p style="text-align: center;">火災から守る：ガス系消火設備が水濡れ厳禁の施設で活躍</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>水・泡消火が適さない印刷機械などを有する工場施設、オフィスビル、美術館、博物館、立体駐車場などで活躍するガス系消火設備</p> </div> </div> <p>■ 日本で初めて不活性ガス消火設備を手掛けて以来、各種ガス系消火設備で暮らしの安全に貢献。</p>	

防衛・通信機器事業

防衛機器	国防に貢献： マイクロ波応用技術や慣性センサー技術が強み	業界シェア
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>◀ 写真提供： イカロス出版/赤塚聡</p>  </div> <div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>航空機を取り巻く電波を瞬時に分析し、危険なレーダー照射などの警報を発するレーダー警戒装置</p> <p>GPSなどを利用した方位測定ができない潜水艦などに搭載される高精度のリングレーザージャイロを用いた慣性航法装置</p> <p>航空機の高度、速度などを計算する対気諸元計算装置（ADC）ブルーインパルス機体にも搭載</p> <p>■ 防衛市場向けの航空機搭載用電子機器や艦艇向け航法装置などの開発・生産・修理保守。</p>	
海上交通機器	船の安全航行に貢献：“海の管制塔”ともいえる海上交通システムを提供	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>東京湾「海ほたる」に設置された海上監視レーダー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>全国7か所の港湾に設置された海上交通センターの管制業務を担うVTSシステム</p> </div> <div style="text-align: left;"> <p>*1 AIS：Automatic Identification System 船舶間や船舶と航行援助施設などとの間で情報交換を行うシステム</p> <p>*2 VTS：Vessel Traffic Services 船舶通航業務</p> </div> </div> <p>■ 混雑する海上交通路の管制業務に必要な、「海上監視レーダー」や「AIS*¹情報管理装置」といったVTS*²システムを提供。</p> <p>■ 欧州の湾岸や河川向けにもVTS用レーダーを納入。</p>	<p>全国海上交通センターのVTSシステム</p> <p>100%</p>

防衛・通信機器事業

センサー機器	慣性センサーや制御技術の組み合わせでスマート農業や防災システムに貢献	業界シェア
 <p>震度測定に不可欠な地震加速度計</p>	 <p>農作業の負担軽減のための農業機械向け直進自動操舵補助装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ジャイロ技術、慣性センサー、独自のソフトウェア技術が結集したトラクタ直進自動操舵補助装置でスマート農業を推進。 ■ 気象庁向け地震計に使用される加速度計で国土防災に貢献。 	<p>気象庁向け地震計用加速度計 約8割</p>
高周波応用機器	マイクロ波応用技術を駆使し、半導体製造装置部品や宇宙ビジネスなどの先進産業に参入	
 <p>次世代半導体の製造装置などに使用されるソリッドステートマイクロ波電源</p>	 <p>©Synspective Inc. マイクロ波増幅器が搭載された観測衛星（SAR衛星）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ソリッドステートマイクロ波電源を半導体製造装置に搭載することで、半導体の微細化を実現。 ■ 観測衛星から地表に向けて発するレーダー信号を増幅させるマイクロ波増幅器を提供。 	
通信制御機器	ジャイロセンサー、加速度計、磁気方位センサーなどの技術を放送品質向上に活用	
 <p>ヘリコプターの位置と姿勢方位を絶えず把握のうえ、中継アンテナを常に受信局に向けるよう制御し、途切れなく映像を伝送するアンテナ自動指向装置</p>	 <p>放送局の報道ヘリや、国内の主要なマラソン・駅伝中継などで、中継車に搭載されるカメラ防振装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 放送局の報道ヘリや中継車に搭載された姿勢制御装置により、安定した映像送信を実現。 ■ 国内TV局の報道ヘリに搭載されているアンテナ自動指向装置により、空撮映像の確実な送信を実現。 	<p>国内TV局の報道ヘリに搭載されるアンテナ自動指向装置 9割以上</p>

その他事業（検査・鉄道）

検査機器	印刷の品質向上に貢献：高精度な画像処理技術で印刷や素材のトラブルを検出	業界シェア
 <p>印刷の不良率の削減と印刷品質の確保を実現する印刷品質検査装置</p>  <p>フィルム、不織布、金属箔などの無地素材の生産加工不良や異物混入などを検出する素材検査装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自社開発のチップで、高速リアルタイム画像処理を実現。 ■ 印刷ミスや異物混入を自動で高速に探知し、作業効率向上や材料のムダ排除を促進。 		<p>業界シェア</p> <p>軟包材向けグラビア印刷機向け 国内トップシェア</p> <p>軟包材： プラスチックフィルム、紙、アルミ фольドールなどのような薄い柔軟性のある材料で構成されている包装材</p>
鉄道機器	鉄道の安全運行に貢献：超音波技術を鉄道保線に活用	
 <p>レール内部の傷に対し、超音波探傷による非破壊検査を行うレール探傷車</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ レール探傷器や分岐器検査装置などの測定機器及び保線役務で、鉄道保線業務を支える。 	 <p>複数種の軌道材料の状態を自動で検査・判定する軌道検査省力化システム</p>  <p>分岐器内のレールやクロッシングの摩耗量、軌道変位などを同時に測定できる分岐器検査装置</p>	<p>JR各社・国内民営鉄道向け 超音波レール探傷車 7割以上</p>

将来情報に係るご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。本資料ご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先

東京計器株式会社 コーポレート・コミュニケーション室 早川

TEL 03-3730-7013

問合せフォーム https://www.tokyokeiki.jp/form/webform_ir.html

ホームページ <https://www.tokyokeiki.jp/>



株式会社シェアードリサーチによるアナリストレポートを公開しています。

日本語版 <https://sharedresearch.jp/ja/companies/7721>

英語版 <https://sharedresearch.jp/en/companies/7721>

本レポートは予告なく公開終了する場合がございます。